

東北福祉大は2日、仙台市青葉区の国見キャンパスで、交流サイト（SNS）を介した闇バイトの手口や対策を伝える講座を開いた。社会福祉学科1年生約600人が参加し、闇バイトの危険性を学んだ。

講師を務めた仙台北署の三浦秀一刑事官が、闇バイトの特徴を解説。「即日即金ホワイトのみ」とのうた

闇バイト 手口知って

東北福祉大 仙台北署員が講座

学生が闇バイトの手口を学んだ講座

い文句で具体的な業務内容が記載されないことや、匿名性の高い通信アプリに誘導されるケースが多いと説明した。

犯人は入手した個人情報を使って脅し、複数回犯罪に加担させる傾向があるとし「犯罪と気付いた時点で警察などに相談してほしい」と注意を促した。

1年小池那緒さん(18)は「家族の情報まで聞き出して脅迫すると初めて知った。SNSの不審なダイレクトメッセージのリンクを押さないなど気を付けた」と話した。